

平成29年度 国語科研究の概要

学校教育目標＝ふるさとに学び，どの子どもも喜んで活動する学校

国語科でめざす子ども像

- ①基礎的・基本的な内容を確実に身に付ける子ども
- ②学習の見通しをもち，主体的に課題を解決することができる子ども
- ③目的や意図に応じて，根拠を明確にして，自分の考えを伝え合おうとする子ども

国語科研究主題＝深く読み，豊かに表現する子どもの育成
～交流活動を通して読みを深める授業を目指して～

研究の仮説

- ①身に付けさせたい力を明確にし，1 単位時間の授業構成を工夫することにより，
- ②根拠を明確にして自分の考えをもたせ，比較・検討して最適解に導いていくことにより，

児童の読みは深まり，豊かな表現力を身に付けていくのではないか。

まとめ・
振り返り

・本時の変容が分かるように振り返りの時間を確保

交流活動

・最適解に導いていくための発問の精選

一人学び

・主体的な学びを支える話合いの形態の工夫

つかむ

・話合いをつなげたり広げたりするための言葉の提示(比較・検討)

ゴールを明確にした
授業構成

・互いのよさを認め合いながら話合うための反応言葉の掲示

・根拠を示して書いたり話したりするための支援
・話型や言葉の提示

・本時のねらいの明示
・読みの視点の明確化

・叙述に着目させるための本文の提示

学びを支えるために

- 学習習慣の徹底
 - ・話す・聞く力の育成（話し方名人・聞き方名人），ノート指導（ノート展）
- 基礎的・基本的内容の定着
 - ・朝学習でのドリル学習，補充指導としてのパワーアップ，全校一斉テスト，一人勉強の指導と見取り，国語辞典の活用，家庭学習カードの活用
- 学習環境づくり
 - ・学習コーナーの設置，学習用語等の掲示
- 読書活動の充実
 - ・読み聞かせ，図書室の活用
- 共感的な学級づくり（学級力・学年力アンケート）
 - ・キラッとさんがいっぱい，ふれあい集会（学年のめあて，学年自慢）